



SQUARE⇒01
私、人と関わるのが好きです
p.49



SQUARE⇒02
全国フリマカレンダー
p.50

SQUARE



SQUARE⇒03
首都圏社会人のための
ネットワークリスト
p.64



SQUARE⇒04
MF駆け込み110番
p.68

MPコミュニケーション広場

仕事も遊びも友だちも、あなたにとっての最高のパートナーを見つけることが大切です。
人も情報も満載のこの広場なら、まだ見ぬあなたとの出会いを待っている人がきっといるはず。
人との出会いが大好きな、各分野で活躍している人のインタビューをはじめ、フリマ情報からサークル、心の相談相手など、
あなたの興味を引くスポットへ。今すぐアクセスしてください！

SQUARE >>> 01

INTERVIEW | 私、人と関わるのが好きです… 63

長井さんがイギリスに渡ったのは2000年、夫の転勤に伴ったことだ。それまでも、スペイン、オーストラリアなど家族で移り住んだ。子供の頃から本が大好きで、今も週に2、3冊のペースで読むという。イギリス文学について尋ねると、こんな答えが。

「イギリス人の心のベースとなっているキリスト教を知ることが、イギリス文学を理解する第一歩だと思えます。イギリスが繁栄の頂点を極めていたヴィクトリア時代に書かれた小説が好きです。自分が生まれる前の時代

に歩きましたが、日帰りでできない場所は、それまでに読み貯めた本と集めた資料から綿密な旅行計画を立てて、なるべく時間とお金の無駄のないように、まとめて巡りました」

「古い物が大好きで、アンティーク市やアンティークショップを巡り、自分で集めたんです」
静かな、物腰の優しい女性だが、行動力はバツグン。その感性と行動力の結晶である「チップス先生の贈り物」、ぜひ一読してみてください。

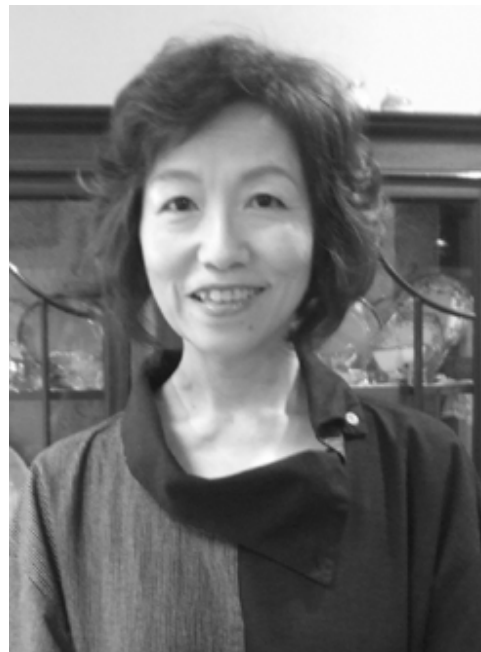
取材旅行中、素敵な老夫婦が経営するB&Bに出会った

代に身を置いて読んでみると、まるで何百年も生きてきたような気持ちになって楽しいんです」

取材旅行中、印象に残ったエピソードをひとつ。

「以前からガラスに興味があったので、手彫りガラス工芸の講師資格を取り、ロンドンでもクラスを持っていたそうだ。帰国後の現在も、カルチャースクールで教えている。」

ヴァージニア・ウルフが暮らした家、C・S・ルイスお気に入りのパブ、ピーター・パンに会えるケンジントン公園……イギリス文学ゆかりの地を訪ね歩いてまどめられたエッセイ『チップス先生の贈り物』が評判を呼んでいる。著者 長井那智子さんにお話を伺った。



● エッセイスト
長井那智子さん

PROFILE

東京都生まれ。青山学院大学卒。1982年よりスペインに6年、95年よりオーストラリアに4年、2000年よりイギリスに6年在住。インターネット雑誌『ベストライフ・オンライン』に「本で読む名画・名舞台」を連載中。現在、カルチャーセンターで手彫りガラス工芸の講師を務める。
<http://www.bestlife.ne.jp/hobby/index.html>



チップス先生の贈り物
長井那智子 文・画
春風社 1,575円(税込)



ヴァージニア・ウルフが暮らした家、ピーター・パンに会えるケンジントン公園、ハリー・ポッターのキングスクロス駅9と3/4番線ホームなど、ロンドンからヨークシャーの荒野まで、英文学ゆかりの地100か所以上を訪れ、作品と作家に思いを馳せるエッセイ集。表紙絵は訳本ハリー・ポッター・シリーズで人気の画家、ダン・シュレンジャー氏の作品。日本図書館協会選定図書。